



活動紹介  
邑智  
ブロック

## 子どもに向けたビハーラ活動

邑智東組 高善寺 武田正文

現在、宗門のビハーラ活動の中心は、ターミナルや高齢者施設での法話会や傾聴活動がメインで行われています。そのノウハウや実績は着実に積み重ねられてきています。

ビハーラ活動は「全てのいのちを大切にすること」を目的にしており、私はビハーラ活動の対象は、もっと広くなっても良いのかもしれないと思っています。

日本における引きこもりは70万人に上ると言われています。近隣の地域でも例外ではなく、若い世代で周囲との関りの難しくなってしまう人は少なからずいます。

高善寺では、月に1回程度、こうした状況にある子たちと集まり、運動をしたり、ゲームをしたり、お寺の掃除を手伝ってもらったりしています。季節に合わせて、バーベキューをしたり、鍋をしたり、一人でいては体験できないようなことを、少人数か

ら少しずつ体験し、それぞれの人生の第一歩を踏み出してもらえるようにという思いでいます。

実は引きこもりという状況は、周囲からの支援が受けにくい状況であります。病気ではないので医療の対象ではありません。15歳を過ぎると学校からの支援もありません。人口の多い都会では、様々な支援組織があるものの、山陰地方、特に中山間地域では近隣に支援組織がある方がまれであるとも言えるでしょう。

家族としても、どこにも相談できないという思いを抱えておられる人も多いと思います。行政や民間の支援団体の手が届きにくい分野にこそ、お寺が関わっていける可能性があるでしょう。ちょっとした居場所を提供し、何気ない会話や体験が子どもたちの第一歩につながればと思っています。まだまだささやかな活動を始めたばかりですが、少しずつでも続けていきたいと考えています。

## 第16回ビハーラ活動全国集会・30周年記念大会のご案内

**とき** 2018(平成30)年2月17日(土)・18日(日)

**ところ** 本願寺阿弥陀堂・聞法会館・浄土真宗本願寺派伝道本部

**テーマ** 「いのちを啓くビハーラに生きよう! ~み仏の願いに生き生かされる実践~」

基調講演  
(対談)

**講師**：カール・ベッカー 先生(京都大学大学院 政策のための科学ユニット 特任教授)

**対談者**：野村康治 先生(ビハーラ活動推進委員会委員、社会福祉法人至心会理事長)

**コーディネーター**：丘山願海 先生(浄土真宗本願寺派総合研究所長)

**募集人数** 500名

**参加費** 10,000円(懇親会費7,000円含む)



## 編集後記

ビハーラ活動って何ですか?と聞かれることがよくあります。最初に終末期医療での活動を思い浮かべることが多いかもしれません。以前ある研修会で教えて頂いたのは、「ビハーラ活動とは何一つ特別な活動ではなく仏教者としての実践道」「仏教の原点」であるということでした。今年度も事業計画の一つに教区内単位ビハーラの養成が掲げられています。当会での交流を通じて、各地域での活動・実践の場が広がっていくよう願っています。(事務局)